

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

知の生成と流通に革新をもたらす企業集団となる。知は社会の礎であるという価値観を共有し、業界の活性化をリードし、日本の社会に貢献する。

売上高
1,850億円

営業利益
55億円

当期純利益
34億円

ROE
5.8%以上

② 中長期の経営戦略

1. グループ資産の活用促進

デジタル・IPを起点とした事業構造への転換。児童書・絵本および専門書分野のコンテンツを活用し、収益性を向上。

2. 成長領域の創出

保育・保育士派遣事業、読み放題サービス「丸善リサーチ」の展開。海外市場やアニメ・マンガIP商材の活用を推進。

3. 収益構造の転換

紙市場縮小への対応。学校・研究機関・企業に書籍とデジタルを組み合わせた学習機会を提供。受発注・物流・在庫管理等の業務効率化を推進。

4. 人手不足への対応

ロボット・AI等のテクノロジー導入。採用強化・働く環境改善・人材育成充実で運営体制を確保。

③ 対処すべき課題

① 紙書籍市場の急激な縮小

- ・教科書・専門書販売が計画想定を超える速度で減少
- ・従来型の収益構造見直しが重要課題
- ・デジタル・メディアミックスへの急速な転換が必須

② 人件費高騰と人手不足

- ・公共図書館運営事業で人件費が予想超過
- ・採用難による採用競争と給与上昇圧力
- ・運営現場の安定体制確保と業務効率化が喫緊課題

③ 消費環境の悪化と先行き不透明

- ・物価上昇で家計実質購買力が下押し
- ・生活者の節約志向・選択志向が強まる
- ・インバウンド需要の先行き不透明感が高まる

面接で使えるポイント

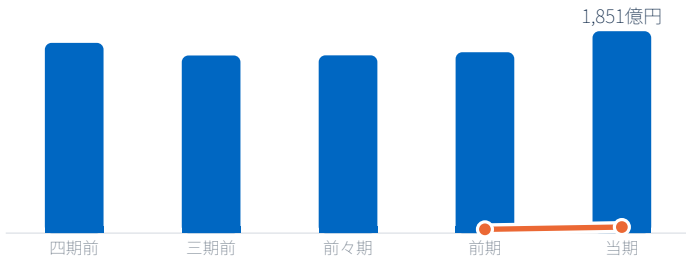
- ・経営理念『知は社会の礎である』に基づき、教育・学術機関・図書館等と連携し、知の生成・流通を革新する事業展開が特徴。
- ・紙書籍市場縮小に対し、デジタル・IP戦略で新規事業を創出。『丸善リサーチ』は2026年1月時点で会員数8,000名超に拡...
- ・2029年1月期に売上高1,850億円・営業利益55億円を目標とし、収益構造の抜本的な転換に取り組む成長企業。

丸善ＣＨＩホールディングス株式会社

小売業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 1月31日 | ...

証券コード 3159

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,851億円

営業利益率
3.0%

財務健康度
30点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 51.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
602万円

小売業内 105位/318社

平均年齢
51.6歳

小売業内 11位/318社

平均勤続
6.85年

小売業内 250位/318社

女性管理職
33.3%

小売業内 30位/250社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

丸善ＣＨＩホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

